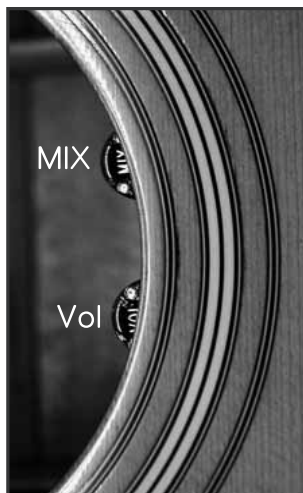


Dual Source
USER'S GUIDE

L.R. Baggs

エルアールバッグスの製品をお買上げ頂きましてありがとうございます。Dual Sourceはサウンドホールに取り付けられたこのコントロールでピエゾPUとマイクの音量を調整します。アウトプットジャックにシールドを差し込むとスイッチONの状態になりこのREMOTE CONTROLのLEDが赤く点灯します。通常のモノケーブルではミックスアウト、ステレオYケーブルを使用するとピエゾとマイクが別々でアウトできます（STEREO スイッチ ONにする必要があります）。用途により使い分けてご使用下さい。



REMOTE CONTROL

MONOの場合 (通常のモノシールドを使用)

Vol ピエゾPUのヴォリュームをコントロールします。MONOの場合これがマスターヴォリュームになりますので、ゼロにすると下記のMIC Vol. もOFFとなります。基本的にMONOの場合はハウリング考慮の為、ピエゾPUで音量、音圧を稼ぎMICの音をそこに加えていく（ブレンド）とお考え下さい。

MIX ボディ内に備え付けられたコンデンサーマイクのヴォリュームをコントロールします。ほんの少しヴォリュームを上げるだけでエアー感を得ることが出来ます。アンプ近くでこのヴォリュームを急激に上げてしまうとハウリングしてしまうのでアンプから離れた状態で徐々に上げて下さい。

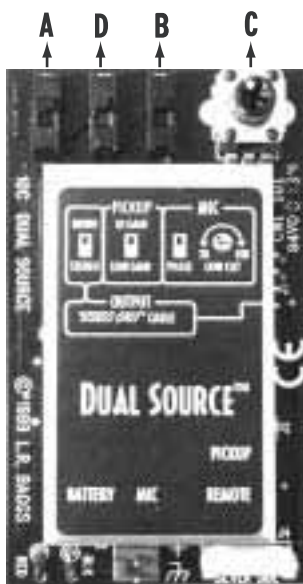
(注) ピエゾヴォリュームがマスターなので、ピエゾボリュームがゼロの時はマイクは上げても音が出ません。

STEREOの場合 (ステレオケーブルを使用)

Vol : ピエゾPUのヴォリュームをコントロールします。

MIX : ボディ内に備え付けられたコンデンサーマイクは固定ヴォリュームのアウトとなります。

(注) 別売オプション : Standard STEREO CABLE / 2.2m / ¥3,800
L. R. Baggs純正 STEREO CABLE / 5.0m / ¥8,000



PRE AMP

A. Mono/Stereo Switch

アウトプットの切り替えスイッチです。出荷時はモノモードになっています。（TIP側/ピエゾ、RING側・マイク）

B. Mic Phase Switch

このDual Sourceは他社のピエゾ、マグネティックPUも使用できるように開発されています。その時に他社ピックアップとMICの位相を合わせる為のものです。

(他社ピックアップを使用する際は、プリアンプにミニジャックで差し込みます。)

C. Mic Low Cut Control

ハウリング対策のLow Cutコントロールです。2kHz～100Hzまでをコントロールします。メーカー推奨は、1000Hzあたりをカットして下さい。（時計9時あたり）。そしてサウンド的にもっとLowが欲しい場合はアンプ、PAサイドで上げて下さい。

D. Pickup High/Low Gain Switch

このDual Sourceは他社のピエゾ、マグネティックPUも使用できるように開発されています。その時に他社ピックアップの入力を合わせるものです。このDual Sourceのシステムのままで使用する場合は出荷時初期設定通り (High Gain) のポジションです。

OUT PUT

- ・ステレオ・アウトプットジャックです。ジャックを差し込むとスイッチが入ります。ステレオの場合は、Yケーブルをご使用下さい。

別売オプション : Standard STEREO CABLE / 2.2m / ¥3,800.

L. R. Baggs純正 STEREO CABLE / 5.0m / ¥8,000

- ・モノアウトも兼用ですので、プリアンプのスイッチにて切り替えて下さい。

ボディエンドブロック

ネジが切ってある部分が少し飛び出るように固定して下さい。
(注)
この部分を確実にしておかないと音が途切れたり、接触不良の問題となりますのでご注意下さい。

< Dual Source Specifications >

▲Battery Type : 1 x 9V ▲Current Consumpion : 1.7mA ▲Battery Life : 250+ Hours *alkaline

▲Low Cut Filter : Fixed, 12dB/Oct@ 37Hz ▲Signal to Noise : -92dB

▲Output Impedance : 1200 Ohm ▲Output Stage : Pure Class A ▲Output Level : -10dB

Dual Sourceの取付け

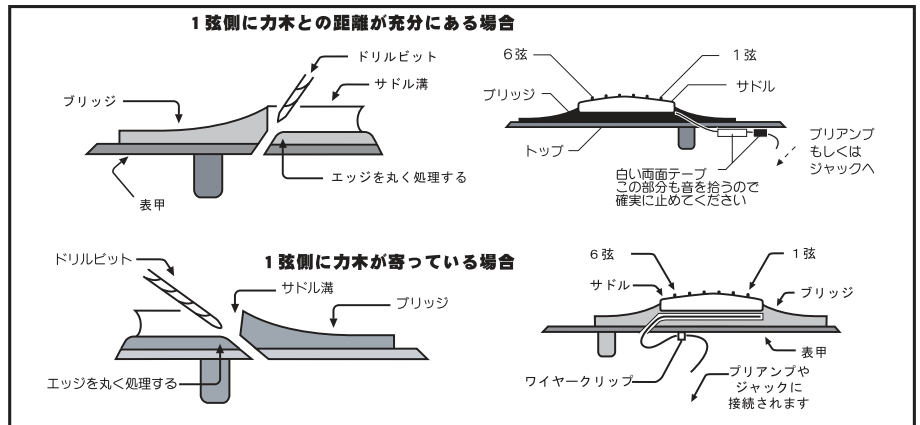
取付けは専門の知識が必要です。お買上げのお店にお問合せ下さい。
取付け不備や間違いによる破損は補償対象とはなりませんのでお気をつけ下さい。

(1) ストラップ用のエンドピン穴の穴開けから始めます。

1/2インチ (又は12.5~12.7mm) の径が必要です。穴あけ後、エンドピンジャックをギター内部から入れて付属のナットとワッシャーで固定します。

(2) 次にElement(ピエゾPU)を取り付けます。

次に右の図の様にElement(ピエゾPU)を取り付けます。穴径は2.5mm ± 0.2mm。一弦側に穴を開けます。基本的に1弦側に取付けますが、まずは、カ木の位置を確認し右図のように対応してください。



(3) プリアンプ取付け

ボディ内側の接着面にホコリ等がなくきれいになっているか確認してから取付けて下さい。右の図の矢印のところにピエゾの端子を取付ける為、カ木からの距離を開けてください。

(4) リモートコントロール

黒のサーキットボードと特殊加工したアルミの台座に2本のネジが付いており、サウンドホール縁に取付ます。(前頁の図参照)

- (A) まず、2本のネジをゆるめ、サーキットボードとアルミの台座との間隔が均等になるようにし、サウンドホールにネジを締め取付ます。
- (B) 取付後、2つのボリュームノブがスムーズに動くか確認して下さい。
- (C) スムーズに動かない場合はサーキットボード底から出ている全体の高さ調整の為のネジを含め再度調整してみてください。

(5) Element(ピエゾPU)のミニプラグとマイクの端子をプリアンプにつなぎます。

(6) マイクの取付： 基本的に図のように取り付けて下さい。

<マイクをご使用になる前の予備知識>

- ▲デュアルソース・システムにおけるマイクの考えは・・・
基本音であり弦からのダイレクト音であるピエゾに、ギターボディ内のエアー感を追加し、より自然な生音に近づける為のものです。あくまでもピエゾがメインでマイクから拾ったエアー感とのミックスで音を創り出すシステムとお考え下さい。マイクをミックスすることにより、ピエゾのみの場合にありがちなピチピチ音を軽減し、よりナチュラルなサウンドを得ることができます。
- ▲他社からでているマイクでは、マイクスタンドにセットしいわゆるマイク録りを狙ったサウンドを意図しているものがありますが、マイクの性格上、音質とは裏腹に（特にライブ時）フィードバックの問題が大きくなって回ります。
- ▲デュアルソース・システムのマイクは当然取付ける位置によって音質やエアー感が変わってきます。マイクの取付け位置はマイクの裏の接着面を仮止めて、ご確認後に決定して下さい。フィードバックを最小限にしたい場合は、ボディの底に近いところに取付けて下さい。

(7) 最後に、ボディ内のケーブル類をまとめる。

付属のクランプでボディ内側のサイドに止めます。

使用時の注意事項・必ずお読み下さい。

- (1) ピエゾボリュームはマスターボリュームとなっている為、ピエゾボリュームがゼロの場合、マイク単独のボリュームコントロールはできません。ピエゾのマイクを任意のレベルでミックスさせることにより、レコーディング・スタジオ等でマイキングした時と同じエアー感（アンビエンス効果）を得ることができます。
- (2) エンドピンのアウトプットジャックはオン・オフのスイッチの役割をします。ボルテージが下がってくるとLEDの光が暗くなり本来の音のクオリティが低下して来ますので光が暗くなったと思われるらバッテリー（アルカリ電池推奨）を交換して下さい。音が歪んで来た、音がでないなどの場合は、まずバッテリーを交換してみてください。
- (3) マイクは20~20,000Hzとレンジが広くフィードバックしやすいので使用する前には必ずマイクボリュームを下げた状態でスタートし、徐々にマイクボリュームを上げて調整して下さい。
- (4) Dual Source はMONO / STEREO対応です。通常のシールド使用時はピエゾとマイクの音がミックスアウトされます。ステレオケーブル使用時（プリアンプのスイッチをSTEREO モードにする）はそれぞれ別々にアウトされコントロールが可能です。

L. R. BAGGS製品に関しては最寄りのお店にお問合せになるか、ホームページ www.jes1988.com をご参考にして下さい。